



進路だより

福島県立たむら支援学校
進路指導部通信 第 2 号
平成29年11月28日発行

福島県障がい者技能競技大会（アビリンピック）に参加しました

平成29年11月11日（土）に第16回福島県障がい者技能競技大会（アビリンピック）が福島市のポリテクセンター福島で開催されました。この大会は障がいのある方が、日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障がい者に対する理解と認識を深め、障がいのある方の雇用促進を図ることを目的とした大会です。

本校の生徒はビルクリーニング競技に参加し、練習の成果を十分に発揮することができました。大きな大会への参加をとおして一つ一つの「できた」を積み重ね、自信につなげていきたいと思えます。

◇競技種目紹介（6つの競技が設定されています。）

競技	対象障がい	競技内容
ワード・プロセッサ	身体・知的 精神障害	Wordに組み込まれている各種機能を駆使しながら入力、文書作成を行う。
パソコンデータ入力	知的	Excelを使用し、簡易データの入力を行う。
縫製	知的	裁断された布地でエプロンを作成する。
喫茶サービス	身体・知的 精神障害	模擬喫茶店における飲料サービスとして、接客、注文品の提供、片付け等の一連の作業を行う。
ビルクリーニング	身体・知的 精神障害	模擬オフィスにおいて、指定時間内にダスタークロス、モップ、テーブル拭き等の作業を行う。
オフィスアシスタント	身体・知的 精神障害	文書の三つ折り、宛名シール貼り、封入、封筒の仕分けの4つの工程の作業を行う。

〈競技の様子〉



競技開始前には道具の点検や工程表で確認したいことの質問等の時間が設定されています。競技の順番は公平を期すためにくじ引きで決められますが、出場した2人は、仲良く8番くじを引き最終競技者となりました。競技では練習の成果を十分に発揮することができていました。

〈競技に参加しての感想〉

初めての参加でしたが、緊張せず参加することができました。練習してきたことを本番で発揮することができてよかったです。

高等部1年1組 伊藤 陽平

初めてのアビリンピックでしたが、練習したとおりに行うことができました。緊張しましたが、自分の競技を最後まで頑張ることができてよかったです。

高等部1年1組 坪井 皓紀